重要事項説明書Ⅱ

(令和6年11月1日現在)

1. 介護保険証の確認

ご利用のお申込みに当たり、ご利用希望者の介護保険証を確認させていただきます。

2. 介護保健施設サービス

当施設でのサービスは、どのような介護サービスを提供すれば家庭に帰っていただける状態になるかという施設サービス計画に基づいて提供されます。この計画は、利用者に関わるあらゆる職種の職員の協議によって作成されますが、その際、ご本人・利用者の後見人、利用者の家族、身元引受人等の希望を十分に取り入れ、また、計画の内容については同意をいただくようになります。

◇医療：

介護老人保健施設は入院の必要のない程度の要介護者を対象としていますが、医師・看護職員が常勤していますので、ご利用者の状態に照らして適切な医療・看護を行います。

◇機能訓練：

原則として機能訓練室で行いますが、施設内でのすべての活動が機能訓練のためのリハビリテーション効果を期待したものです。

◇生活サービス：

当施設入所中も明るく家庭的な雰囲気のもとで生活していただけるよう、常に利用者の立場に立って運営しています。

◇栄養管理：

心身の状態の維持・改善の基礎となる栄養管理サービスを提供します。

3. 利用料金（利用者負担説明）

(1) 基本料金

- ① 施設利用料（介護保険制度では、要介護認定による要介護の程度によって利用料が異なります。以下は1日あたりの自己負担分です）

◇その他型（Ⅳ型）

<4人部屋・2人部屋>		<個室>	
・要介護1	777円	・要介護1	703円
・要介護2	826円	・要介護2	748円
・要介護3	889円	・要介護3	812円
・要介護4	941円	・要介護4	865円
・要介護5	991円	・要介護5	913円

◇基本型（Ⅰ型）

< 4人部屋・2人部屋 >		< 個室 >	
・要介護1	793円	・要介護1	717円
・要介護2	843円	・要介護2	763円
・要介護3	908円	・要介護3	828円
・要介護4	961円	・要介護4	883円
・要介護5	1012円	・要介護5	932円

* 初期加算（Ⅰ）

連携をしている急性期の医療機関より入所された場合、入所後30日に限り60円加算されます。

初期加算（Ⅱ）

入所後30日間に限って、上記施設利用料に30円加算されます。

* 外泊された場合には、外泊初日と最終日以外は上記施設利用料に代えて362円となります。

* 外泊時に介護老人保健施設により提供される在宅サービスを利用した場合には上記施設利用料に代えて800円となります。

* 入所者の病状の著しい変化に緊急治療を行った場合、1日につき518円加算されます。

* なお、緊急時に所定の対応を行った場合、別途料金が加算されます。

* 所定疾患の治療を行った場合

i) 所定疾患施設療養費（Ⅰ）	239円
ii) 所定疾患施設療養費（Ⅱ）	480円

② リハビリテーション加算（1日あたり）

i) 短期集中リハビリテーション実施加算（入所後3ヶ月以内）

(Ⅰ) 258円

(Ⅱ) 200円

ii) 認知症短期集中リハビリテーション実施加算（入所後3ヶ月以内）

(Ⅰ) 240円

(Ⅱ) 120円

③ 退所時指導等を行った場合は、下記の料金が加算されます。

i) 試行的退所時ご本人やご家族に指導を行った場合 400円

ii) 退所時に主治医に対して情報提供を行った場合（Ⅰ） 500円

（Ⅱ） 250円

iii) 退所前に居宅介護支援事業所に情報提供を行った場合 400円

iv) 入所前後より退所後の居宅サービスの利用を見据え、居宅介護支援事業所と連携し支援を行った場合 600円

- ④ 入所前後訪問指導加算（Ⅰ） 450円
退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療方針の決定を行った場合
- 入所前後訪問指導加算（Ⅱ） 480円
退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療方針の決定にあたり、生活機能の具体的改善目標を定めるとともに、退所後の生活に係る支援計画を策定した場合
- ⑤ 栄養管理についての加算（1日あたり）
- i) 栄養マネジメント強化加算（1日あたり） 11円
入所者ごとの継続的な栄養管理を強化して実施
 - ii) 経口移行加算 28円
経口摂取を進めるための栄養管理
 - iii) 経口維持加算
 - 1) 著しい誤嚥が認められる（1月当たり） 400円
 - 2) 誤嚥が認められる（1月当たり） 100円
 - iv) 療養食加算（1食あたり） 6円
病状に応じた療養食を提供した場合
- *なお、i)については、全ての利用者を対象としますが、ii) iii) iv)については、利用者の状態にともない加算の対象となります。
- ⑥ 口腔衛生管理加算（1月あたり）
- i) 歯科衛生士等が口腔ケアの技術的助言及び指導を
介護職員に行っている場合 90円
 - ii) 上記に加え、口腔衛生等の管理の実施に当たって
必要な情報を活用している場合 110円
- ⑦ 再入所時栄養連携加算(1回につき) 200円
栄養管理変更のため管理栄養士が連携し栄養ケア計画の作成した場合
- ⑧ 退所時栄養情報連携加算 70円
退所時に管理栄養士が介護保険施設や医療機関等に情報を提供した場合
※厚生労働省が定める特別食又は低栄養状態にあると医師が判断した場合
- ⑨ ターミナルケア加算（1日あたり）
- i) 死亡日以前45日～31日 72円
 - ii) 死亡日以前30日～4日 160円
 - iii) 死亡日の前々日・前日 910円
 - iv) 死亡日 1900円
- ⑩ 若年性認知症利用者受入加算 120円
若年性認知症患者を受け入れた場合

- ⑪ 認知症行動・心理症状緊急対応加算 200円
認知症状が悪化した在宅生活困難者を緊急で受け入れた場合
- ⑫ 認知症チームケア推進加算
認知症の行動・心理症状の未然防止、早期対応の取り組みに対する評価
認知症チームケア推進加算（Ⅰ） 150円／月
認知症チームケア推進加算（Ⅱ） 120円／月
- ⑬ サービス提供体制強化加算（1日あたり）
介護職員のキャリア等の状況が評価された場合に以下の料金が加算
i) 介護福祉士が80%以上配置または
勤続10年以上の介護福祉士が35%以上 22円
ii) 介護福祉士が60%以上配置 18円
iii) 介護福祉士が50%以上配置または
常勤職員が75%以上配置または
勤続年数7年以上の職員を30%以上配置 6円
- ⑭ 在宅復帰・在宅療養支援機能加算（1日あたり） 51円
施設が在宅復帰支援について積極的に取り組み、評価対象となった場合
- ⑮ かかりつけ医連携薬剤調整加算（1回あたり）
かかりつけ医と連携し薬剤の調整等行った場合
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅰ)イ 140円
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅰ)ロ 70円
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅱ) 240円
かかりつけ医連携薬剤調整加算(Ⅲ) 100円
- ⑯ 褥瘡マネジメント加算（1月あたり）
継続的な褥瘡管理を行った場合
褥瘡マネジメント加算(Ⅰ) 3円
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ) 13円
- ⑰ 排せつ支援加算（1月あたり）
排せつの改善を計画的に支援した場合
排せつ支援加算（Ⅰ） 10円
排せつ支援加算（Ⅱ） 15円
排せつ支援加算（Ⅲ） 30円
- ⑱ リハビリテーションマネジメント計画情報加算(1月につき)
リハビリテーション・機能訓練、口腔衛生、栄養を一体的に取り組み、収集した
情報を活用しサービスを提供した場合 (Ⅰ) 53円

(Ⅱ) 33円

- ⑲ 自立支援推進加算(1月につき) 300円
継続的に入所者ごとの自立支援を行っている場合
- ⑳ 科学的介護推進体制加算(1月につき)
利用者の生活状況などの情報収集を行い、それを活用した介護サービスを提供した場合
科学的介護推進体制加算(Ⅰ) 40円
科学的介護推進体制加算(Ⅱ) 60円
- ㉑ 安全対策体制加算 20円
組織的に安全対策を実施する体制が整備されている場合
- ㉒ 生産性向上体制推進加算(1月につき)
介護現場における生産性の向上に資する取組んだ場合
生産性向上体制推進加算(Ⅰ) 100円
生産性向上体制推進加算(Ⅱ) 10円
- ㉓ 夜間職員配置加算 24円(1日あたり)
夜間帯の職員配置状況が基準以上に配置され、評価対象となった場合
- ㉔ 協力医療機関連携加算(1月につき)
協力医療機関との実効性のある連携体制を構築し、定期的な情報共有、会議を開催する評価として
100円(令和6年度まで)
50円(令和7年度から)
5円(上記以外)
- ㉕ 新興感染症等施設療養費(1日につき) 240円
新興感染症のパンデミック発生時において必要な感染対策や医療機関との連携を確保した上、施設内で療養を行った場合
- ㉖ 高齢者施設等感染対策向上加算(1月につき)
感染症に対して施設内での療養、拡大防止を目的に医療機関と連携し取り組んだ場合
高齢者施設等感染対策向上加算(Ⅰ) 10円
高齢者施設等感染対策向上加算(Ⅱ) 5円
- ㉗ 介護職員処遇改善加算Ⅰ ①～㉖の合計金額の7.5%に相当する金額
介護職員の処遇改善(賃金改善や資質向上機会提供の改善等)の実施評価として
※(令和6年6月1日より算定)

*上記に記している料金は1割負担となっております。
一定の所得以上の所得のある利用者の自己負担額は2割又は3割になります。

(2) その他の料金 I

① 食費 (食材料費及び調理費にかかる費用)

食費は、1日当たり 2100円 です。

ただし、所得の状況により、食費について負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載している食費の負担限度額とします。

② 居住費 (療養室の利用費)

i) 4人部屋及び2人部屋の居住費は、1日当たり 437円 です。

ただし、所得の状況により、居住費について負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載している居住費の負担限度額とします。

ii) 個室の居住費は、1日当たり 1728円 です。

ただし、所得の状況により、居住費について負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載している居住費の負担限度額とします。

*①②の所得の状況の対象者は以下の第1段階～第3段階の方です。負担限度額認定を受けるためには、市町村への申請が必要です。

第1段階 (市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者・生活保護受給者)

第2段階 (市町村民税世帯非課税であって、年金収入額と合計所得金額の合計が、80万円以下の方)

第3段階① (市町村民税世帯非課税であって、年金収入額と合計所得金額の合計が80万円超120万円以下の方)

第3段階② (市町村民税世帯非課税であって、年金収入額と合計所得金額の合計が120万超の方)

(3) その他の料金 II (ご希望に応じてのご負担となります)

① 石鹸代	1回当たり	30円
② 洗面用タオル代	1枚当たり	10円
③ バスタオル使用料	1枚当たり	90円
④ タオル使用料	1枚当たり	40円
⑤ 特別室使用料 (個室)	1日当たり	500円
⑥ テレビ利用料	1日当たり	200円 (イヤホンをご持参ください)
⑦ 貴重品管理料	1日当たり	10円
⑧ 電気使用料 (1器具、1日当たり)		50円
(電気機器によって料金が異なる場合があります)
⑨ 義歯洗浄剤		7円
⑩ 洗濯代	1枚当たり	50円～実費
⑪ クラブ活動材料費/回		実費
⑫ 特別な行事にかかわる費用/回		実費
⑬ 健康管理費 (インフルエンザ等)		実費
⑭ 栄養補助食品		実費

※ 理美容代	業者規定料金
※ 業者洗濯	業者規定料金

(4) 利用負担額の計算方法について

利用負担金は、(1)の基本料金の該当項目の金額と(2)その他の料金Ⅰ及び(3)その他の料金Ⅱの該当項目の合計金額となります。また、消費税が変更された場合は変更後の利用料金についてお知らせいたします。

(5) 支払い方法

- ・毎月12日までに前月分の請求書を発行し、20日頃までに送付もしくは直接お渡ししますので、その月の27日までにお支払いください。お支払いいただきますと領収書を発行いたします。(尚、領収書は、医療費控除や高額サービス費の対象となることがありますので、大切に保管してください。ご依頼により再発行しますと、実費分をご負担いただきますので、ご注意ください。)
- ・お支払い方法は、金融機関口座自動引き落とし(但し、山口銀行・郵便局・山口中央農協に限らせていただきます)とさせていただきますが、利用者様のご都合で困難な場合は、ご相談ください。入所契約時にお支払方法をご確認させていただきます。